

科目名	地域福祉論1（社会福祉士必修）				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2022年度 前期	単位数	2		
担当教員	久保 美由紀				
内容および計画	<p>1990年の社会福祉関係八法改正や社会福祉基礎構造改革以降、さらに2000年の社会福祉法の成立により日本の社会福祉はその方向性を地域福祉へと転換してきています。その背景には、高齢者介護や子育て、就労の不安定化などをきっかけにした社会排除や虐待・暴力、社会的な孤立化といった新たな生活課題として捉えられるようになってきたことがあります。これら新たな生活課題に対する解決の方策として「地域福祉」という新たな考え方、サービス提供のあり方の見直し等が必要になってきています。</p> <p>以上のことを踏まえこの科目では、地域福祉が対象とする生活課題の実際やその背景を理解するとともに、地域福祉の基本的考え方、理念について学んでいきます。</p>				
1	福祉問題と地域福祉				
2	地域における人びとの暮らしの実際と生活課題の現状①				
3	地域における人びとの暮らしの実際と生活課題の現状②				
4	地域における人びとの暮らしの実際と生活課題の現状③				
5	地域福祉の理念①				
6	地域福祉の理念②				
7	地域福祉理念の歴史的展開①				
8	地域福祉理念の歴史的展開②				
9	地域福祉理念の歴史的展開③				
10	地域福祉の対象と課題①				
11	地域福祉の対象と課題②				
12	地域福祉の推進主体と住民参加①				
13	地域福祉の推進主体と住民参加②				
14	地域福祉推進の主体と主体形成①				
15	地域福祉推進の主体と主体形成②				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
講義資料を配布します。 学習を進める際の補足として参考書にあげるものなどを活用してください。					
参考書	<p>松岡洋子（2005）『デンマークの高齢者福祉と地域居住』新評論。 大橋謙策（2014）『ケアとコミュニティ』ミネルヴァ書房。 野口定久（2016）『人口減少時代の地域福祉』ミネルヴァ書房。 社会福祉（小）六法（出版社は問いません） 厚生労働省『厚生労働白書』（各年） 厚生統計協会『国民と福祉と介護の動向』（旧『国民の福祉の動向』（各年） その他、講義中に紹介をします。</p>				
成績評価					
	評価方法			割合(%)	
学習成果レポート			80		
小課題レポート			20		

課題成果レポート、小課題レポートについての詳細は、講義初回時に説明します。	
学習到達目標	①地域福祉の主流化の背景を理解する。 ②地域福祉の主体と対象について理解する。 ③地域福祉の政策や実践をすすめる際の基本理念について理解する。
先修条件	
実務経験	
その他	社会福祉関連の講義科目を履修しているとより理解が深まるとお思いますのでお勧めします（mustではありません）。社会情勢含め、広く「世の中」に関心を向け、目を向けるようにしていただければと思います。